

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010101020300		事業の種類	4	
年度	24	事務事業名	こども医療費助成事業		予算事業名	こども医療費助成事業 優先度 4	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民環境部市民課		
施策名(中)		子どもを産み、育てやすい環境をつくる		担当課長	岩崎 徹博	担当者名	小林 佳代子
取組み事項		子育て支援サービスを充実する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		こども医療費助成事業(総額)					
根拠法規及び関連法規		こども医療費助成要綱					
事業の目的	誰のために(具体的に)	こども医療費助成対象者					
	誰(何)を対象として	こども医療費助成対象者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	子どもが病気にかかったときなど、安心して病院に受診できるよう医療費の助成を行う。					
事業の全体年度		事業着手年度	(年度)		事業完了予定年度	(年度)	

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		小学4年から中学3年の児童・生徒の医療費を助成する(H22年度からの新規事業)所得制限あり H22年度は入院医療費の自己負担分を助成 H23年度から対象を通院医療費にも拡大					
活動実績	項目	単位	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度計画	
	助成費	円	216,441	22,348,111	38,954,328	45,200,000	
	助成費(市単独分)	円	145,364	19,339,145	32,744,924	32,042,000	
	助成件数	件	6	6,559	13,099	14,430	
	平均受給者数	人	1,668	1,411	1,350	1,450	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円		
インプット指標		22年度決算	23年度決算	前年比	24年度決算	前年比	25年度予算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.026	0.024	92	0.024	100	0.022	92	
	参事以下職員	0.058	0.248	428	0.253	102	0.270	107	
	臨時職員		0.031	-	0.026	84	0.026	100	
支出内訳	人件費	685,692	2,346,101	342	2,323,586	99	2,475,196	107	
	事業費	216,441	22,348,111	10,325	38,954,328	174	45,200,000	116	
	合計	902,133	24,694,212	2,737	41,277,914	167	47,675,196	115	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金	179,521	1,979,265	1,103	3,283,604	166	4,050,000	123	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	722,612	22,714,947	3,143	37,994,310	167	43,625,196	115	
合計	902,133	24,694,212	2,737	41,277,914	167	47,675,196	115		

## ※ 事業の進捗状況

		事業費単位:円			
項目		22年度	23年度	24年度	25年度
全体進捗率	事業費累計				
	進捗率				

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		1人当りのこども医療費助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/平均受給者数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	150	11,176	7450.7	20,000	179.0	22,098	110.5	
	実績	87	13,706	15754.0	24,255	177.0			
指標名2		1件当りのこども医療費助成							
指標説明(式)		助成費(市単独分)/助成件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	25,000	3,000	12.0	3,898	129.9	2,221	57.0	
	実績	24,227	2,948	12.2	2,500	84.8			

【効率性】

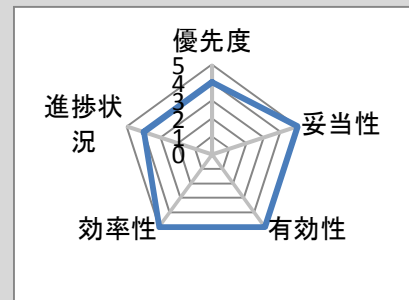
指標名1		こども医療費助成1件当りコスト							
指標説明(式)		(人件費+事業費-助成費)/件数							
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
円	目標	9,266	411	4.4	405	98.5	172	42.5	
	実績	114,282	358	0.3	177	49.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	22年度	23年度	前年比	24年度	前年比	25年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(24年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	子育て世代が安心して子育てできるよう、小学4年から中学3年までのこどもに係る医療費の自己負担分の助成を行うことにより、経済的負担の軽減を図ることができた。	5
	市民ニーズ	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、第5次総合計画策定のための市民アンケートの結果からみても、市民の関心が高い。	
有効性	成果目標(改善)達成度	制度開始当初は入院にかかる医療費のみの助成であったが、通院にかかる医療費まで拡大することで、子育て世代の経済的負担のさらなる軽減を図ることができた。	5
	市民サービス	医療にかかる機会の多い子どもの医療費助成は、第5次総合計画策定のための市民アンケートの結果からみても、市民の関心が高く、市民サービスの向上につながった。	
効率性	コストの節減	制度の周知により受診件数が大幅に伸びたことにより、1件当たりのコストを節減した。	5
	手段の最適性	現物給付(受給者証を交付)とすることで受給者の利便性と業務の効率性を高めることができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	受診件数が大幅に増えており、概ね進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	医療費を無料化することで、安易な受診や不必要な受診が増える可能性があるため、適正な受診に対する啓発を行っていく必要がある。



配点	32.5
総合評価	29.5

7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた25年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
有効性	市民サービス	近隣市町の状況を見ながら、制度を継続していく。

(2) 26年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	近隣市町の状況を見ながら、制度の見直しを検討する。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持